

カリオンの囁きⅡ

2023.9.19



【協働型学校評価（目指す生徒像）】

自分を大切にし、他者を認め、思いや考えを行動に移せる生徒
自分を向上させるための挑戦と努力を粘り強く続ける生徒

不便は手間だが・・・

「素数ものさし」知っていますか？「素数」は数学で学習しましたよね。「1とその数でしか割り切れない整数」のことです。このものさしのセンチメートル単位のメモリは、なんと「2・3・5・7・11・13・17」の素数のみなのです。ミリメートルの単位のメモリも素数だけで、41個しかないとのこと。「これを使って正しい長さの線を引くことができるのか？」「こんなものさし誰が買うのか？」と私の頭の中は疑問だらけになってしまいました。

1センチメートルの線を引くにはどうしたらよいのでしょうか？普通の定規なら、定規の端にある0から1のメモリまで線を引けば終了です。さあ、皆さんならどうしますか？私はたぶんこうする（考える）でしょう。「3マイナス2は1だから、3と2の間の距離が1センチメートルになる。だから、2と3の部分を使って線を引く。」

では、4センチメートルは？6センチメートルは？線を引くだけの行為なのに、一度立ち止まって頭を使わなければならないものさし。面倒くさいですし、非常に不便さを感じます。そもそも、道具とは便利さを追求した上に生まれてきた物なのに、この「素数ものさし」はその逆になっています。しかも、驚くことに、これを販売している京都大学生協では、これを購入する学生がたくさんいるとか。値段は577円（これも素数だそうです）。ちょっとお高く、しかも不便な道具が売れているというのです。

便利さを追求することはとても大切なことだとは思いますが、それによって「人間の能力が失われる」こともあるということをおぼろげに忘れないでほしいと思います。身体的機能であったり、考える力であったり・・・最近、あえて不便にすることに取り組んで、成果を上げている人たちもいるようです。例えば、

○簡単に行けないような場所（秘境と言っても良いかもしれません）に建てた旅館が、非常に人気を博している。

○幼稚園や保育園の園庭を、あえてでこぼこに作ることで、様々な遊びを考える子供を育てる。不便さは、人間に「工夫しよう」というモチベーションを与えてくれます。便利さを追求するスピードが一層加速している現代だからこそ、不便だからと何でも切り捨てるのではなく、不便を取り入れる生活をするのも面白いかもしれませんね。

JOC ジュニアオリンピックカップ第54回 U16 陸上競技大会宮城県予選

- | | | |
|------------|-------------|----------------|
| O.Sさん (3年) | U16 女子三段跳 | 第1位 (祝 全国大会出場) |
| S.Eさん (2年) | U16 女子円盤投 | 第1位 (祝 全国大会出場) |
| S.Kさん (2年) | U16 女子100mH | 第1位 (祝 全国大会出場) |



たくさんの言葉を身に付けよう！

ほんの小さなニュアンスの異なりが争いを呼ぶことがあります。また、言いたいことが間違っ
てしまうこともあります。特に最近、面と向かって伝えることだけでなく、メールでやり取りする
ことも多くなってきています。大人の社会でもそうですし、中学生の皆さんにとっては、LINE 等の SNS
で友達とやり取りすることが結構多いのではないのでしょうか。しかし、中には、うまく伝わらずトラブ
ルに発展してしまうケースもあるようです。本校でも、LINE によるトラブルが数件発生しています。
「文字で伝える」という作業は、実に難しいものです。面と向かって伝えるときには、声の強弱や抑揚、
間の取り方、表情等から、言葉以外の様々なものを感じ取ることができますが、文字だけのやり取りだ
とそうはいきません。

国語の単元に、「わかりやすく伝える」という内容があります。

「八巻君と柏さんが昨日遊んだ公園に行った。」

話す際には間の取り方で、文字に表す際には読点をどこにつけるかで、意味が変わってきます（分か
りますか?）。若い頃、妻にメールで「〇〇先生に食事に誘われたから、行ってもいい?」と送ったと
ころ「いいよ」と返信が。しかし、これを妻はどんな気持ちで送ったかは判断できませんでした。毎日
帰りが遅く、子供の世話も妻に任せっきりだった私は、この「いいよ」という返信を素直に受け取って
いいものか考えてしまいました。「いいよ（最近忙しいようだから気分転換に行っておいで）」なのか
「いいよ（もういつもいつも…勝手にすれば!）」なのか、不安になり、「本当にいいの?」とさらに
メールを。すると、「いいって言ってるじゃない」と返信。再び、怒っているんじゃないかと不安にな
ってしまいました。文字だけでは、その人の気持ちを理解するのは難しいことを痛感したのです（結局
食事に行ったのですが、妻の「いいよ」は後者だったようで、帰宅後、険悪な雰囲気になったのは言う
までもありません：笑）

言葉を使うとき、特に文字で表現するときには、言葉をしっかり吟味しなければならないと思います。
そうすることで、大事なことがきちんと伝わるのかもしれない。言葉を大切に、吟味するといふこ
とは、相手にきちんと伝えるということだけでなく、相手のことを真剣に考えることにつながります。
生徒諸君には、まずは言葉をたくさん身に付け、それを正しく使う努力を積み重ねてほしいと思います。

たくさんの言葉を知っていれば自分の思いを伝えられますし、相手のことも理解できるから…。

★地域の力に★

八本松児童館主催「あそぼうさい」に3年生男子5名がボランティアとして参加し、イベントの
成功に大きく貢献しました。活動の様子は、当日リアルタイムで全世界に配信され、インタビュー
にも堂々と応じていました。また、「この前はいろいろありがとうございました。とてもいい活動
ができたと思います。」と、K.Aさんが、わざわざ校長室にあ
いさつに来てくれました。これもまたすばらしい。さすが自慢
の生徒たちです。



先日は、在家町内会の方から連絡がありました。内容は、「地
区清掃を行った際、中学生が参加してくれたのでとてもあり
がたかった。」というものでした。他の町内会清掃にも、中
生が参加していたかもしれません。

地域の力になる郡中生。すばらしいですね。

